

日進堂が徳島進出

今春 藍住にシヨールーム

香川トップ住宅会社

香川県内で住宅着工棟数トップの住宅会社・日進堂（高松市）が徳島県への進出を決め、藍住町徳命にシヨールーム、住まいの図書館徳島」とモデルハウス1棟を今春オープンさせる。全国的に住宅着工数が落ち込む中、営業エリアを広げて成長を図る。

日進堂は香川県内4カ所と岡山市にシヨールームを持つ。高性能な制震装置を導入するなど災害に強く、断熱性能の高い住宅を手がける。引き渡し後も無料で定期点検するなど、アフターメンテナンスにも力を入れている。

新設するシヨールームは木造2階建てで延べ236平方メートル。幅広い住宅設備を見学できるようにし、打ち合わせ用の個室を4部屋設ける。モデルハウスは木造2階建て延べ111平方メートル。1階にリビングや水回り設



日進堂が藍住町徳命に建設しているシヨールーム（上）とモデルハウス（いずれも完成予想図）



とする。シヨールームは昨年10月、モデルハウスは12月に着工し、ゴールデンウィークごろのグランドオープンを予定している。徳島県内では、低価格帯の住宅を手がける子会社ファミリーホーム（高松市）の徳島営業所が藍住町にあるが、4月に廃止し、社員

3人は新たなシヨールームに配置する。地元採用した人らを加え5人体制で運営する。また、徳島市と北島町に計15区画分のみ譲用地を取得予定で、初年度は8棟の受注と2億円の売り上げを目標にする。将来は10億円規模に伸ばし、徳島市内などへのシヨールーム建設も目指す。

喜久山知哉代表取締役は「藍住町は高松市からアクセスがよく、徳島の幅広いエリアに営業しやすい立地。徳島でも信頼を大切に地域に根差した企業になっていきたい」と話している。（青木寛倫）